

Title	阪大法学 74巻 5号 既刊目次/奥付
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2025, 74(5)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100312
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

既 刊 目 次

第74巻 第3·4号 (通巻第351·352号)

世典期ローマ法学における「希望の購入 (emptio spei)」と 「物 (res)」概念・ 本 智良 再審における科学的証拠	巻頭の辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.武田	邦宣 和彦
再審における科学的証拠 一名張事件を素材に 水谷 規男 現代日本の地方自治システムの持続可能性 北村 亘 ドイツ等一波フェミニズムにおける集会・結社の自由と参政権 一女性の政治参加にみるヘートヴィヒ・ドームの「同権」と ヘレーネ・ランゲの「差異」 的場かおり 比較政治経済学における成長レジーム論の登場 上川龍之進 平成日本の外交 一変革の30年 高橋 慶吉 抗告訴訟と当事者訴訟の区別をめぐる第2次世界大戦後の ドイツの議論状況 長谷川佳彦 近代日本の訴願利用 道府県参事会裁法を対象とする調査の中間報告 小野 博司 政党助成制度をめぐる研究動向 一政党システムへの作用を中心に 濱本 真輔 維新政府の樺太政策 1869~1871 一万国対峙の模索と日霧関係 醍醐 龍馬 帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承 竹中 浩 非債弁済 一民法121条の2との関係 平田 健治 明治前期における警察官の「法継受」 一警官練習所および巡査教習所を主たる対象として 田中亜紀子 民法233条と道路管理 一人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察 矢切 努 出帯時財政の法史的考察 矢切 努 を出帯電片対方遺品整理の法的課題 藤島 光雄 日清戦時財政の法史的考察 矢切 努 を出帯国大学文政学部政学科に関する一考察 ・公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄 日清戦時財政の法史的考察 矢切 努 を出間期日本の国際連盟外交の可能性 少数民族問題と満洲事変 矢切 第 を出間期日本の国際連盟外交の可能性 少数民族問題と満洲事変 矢切 第 を出間期日本の国際連盟外交の可能性 「少数民族問題と満洲事を一 矢嶋 光 公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 一令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして 横井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 一日本法を比較の素材として 採井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対すると告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察	「物 (res) 概念 ··································	·林	智良
現代日本の地方自治システムの持続可能性 北村 亘 ドイツ第一波フェミニズムにおける集会・結社の自由と参政権	再審における科学的証拠	.水公	担甲
一女性の政治参加にみるヘートヴィヒ・ドームの「同権」と ヘレーネ・ランゲの「差異」	現代日本の地方自治システムの持続可能性	·北村	•
ペレーネ・ランゲの「差異」―	――女性の政治参加にみるヘートヴィヒ・ドームの「同権」と		
平成日本の外交 —変革の30年— 高橋 慶吉 抗告訴訟と当事者訴訟の区別をめぐる第 2 次世界大戦後の ドイツの議論状況 長谷川佳彦 近代日本の訴願利用 — 道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告 小野 博司 政党助成制度をめぐる研究動向 — 政党システムへの作用を中心に 濱本 真輔 維新政府の樺太政策 1869~1871 — 万国対峙の模索と日露関係 醍醐 龍馬 帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承・竹中 浩 非債弁済 — 民法121条の 2 との関係 平田 健治 明治前期における警察官の「法継受」 — 警官練習所および巡查教習所を主たる対象として 田中亜紀子 民法233条と道路管理 — 人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察	ヘレーネ・ランゲの「差異」―― ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
抗告訴訟と当事者訴訟の区別をめぐる第 2 次世界大戦後のドイツの議論状況 近代日本の訴願利用 —道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告 — が野 博司 政党助成制度をめぐる研究動向 — 政党システムへの作用を中心に — 政党システムへの作用を中心に — 政党システムへの作用を中心に — 大国対峙の模索と日露関係 — 限議1869~1871 — 万国対峙の模索と日露関係 — 限議121条の2 との関係 — 平田 健治明治前期における警察官の「法継受」 — 警官練習所および巡查教習所を主たる対象として — 日中亜紀子民法233条と道路管理 — 人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察	平成日本の外交		
ドイツの議論状況 長谷川佳彦 近代日本の訴願利用 —道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告 小野 博司 政党助成制度をめぐる研究動向 —政党システムへの作用を中心に 濱本 真輔 維新政府の樺太政策 1869~1871 —万国対峙の模索と日露関係 醍醐 龍馬 帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承・竹中 浩 非債弁済 —民法121条の2との関係 平田 健治 明治前期における警察官の「法継受」 —警官練習所および巡査教習所を主たる対象として 田中亜紀子 民法233条と道路管理 —人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察 荒木 修 公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄 日清戦時財政の法史的考察 矢切 努 台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 第 政徳 戦間期日本の国際連盟外交の可能性 —少数民族問題と満洲事変 矢切 努 台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 一令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして 横井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 —日本法を比較の素材として バトルガ ドゥルグーン 公共化論における行政組織法的問題の素描 矢島 聖也 瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録 三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録	位生活到レ北東孝派到の区別もめどで第9次世界十齢後の		
一道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告 小野 博司 政党助成制度をめぐる研究動向 一政党システムへの作用を中心に 濱本 真輔 維新政府の樺太政策 1869~1871 一万国対峙の模索と日露関係 醍醐 龍馬 帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承・・ 竹中 浩 非債弁済 一民法121条の2との関係 平田 健治 明治前期における警察官の「法継受」 一警官練習所および巡査教習所を主たる対象として 田中亜紀子 民法233条と道路管理 一人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察 荒木 修 公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄 日清戦時財政の法史的考察 矢切 努 台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 謝 政徳 戦間期日本の国際連盟外交の可能性 一少数民族問題と満洲事変 矢嶋 光 公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 一令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして 横井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 一日本法を比較の素材として バトルガ ドゥルグーン 公共化論における行政組織法的問題の素描 矢島 聖也 瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録	ドイツの議論状況	·長谷川	佳彦
#新政府の樺太政策 1869~1871 一万国対峙の模索と日露関係 - 醍醐 龍馬帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承・・・竹中 浩非債弁済 一民法121条の2との関係 - 平田 健治明治前期における警察官の「法継受」 一警官練習所および巡査教習所を主たる対象として - 田中亜紀子民法233条と道路管理 - 人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察 - 荒木 修公営住宅における遺品整理の法的課題 - 藤島 光雄日清戦時財政の法史的考察 - 矢切 努台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 - 謝 政徳戦間期日本の国際連盟外交の可能性 - 少数民族問題と満洲事変 - 矢嶋 光公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 - 令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして - ・横井 陽介モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 - 日本法を比較の素材として - バトルガドウルグーン公共化論における行政組織法的問題の素描 - 矢島 聖也瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録	道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告····	·小野	博司
維新政府の樺太政策 1869~1871 一万国対峙の模索と日露関係	政党助成制度をめぐる研究動向 	·濱本	真輔
帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承・・・竹中 浩 非債弁済 —民法121条の2との関係 平田 健治明治前期における警察官の「法継受」 —警官練習所および巡査教習所を主たる対象として 田中亜紀子民法233条と道路管理 —人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察 荒木 修公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄日清戦時財政の法史的考察 矢切 努台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 謝 政徳戦間期日本の国際連盟外交の可能性 —少数民族問題と満洲事変 矢嶋 光公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 一令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして 横井 陽介モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 日本法を比較の素材として バトルガドウルグーン公共化論における行政組織法的問題の素描 矢島 聖也瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録	維新政府の樺太政策 1869~1871		龍匡
――民法121条の2との関係――――――――――――――――――――――――――――――――――――			
──警官練習所および巡査教習所を主たる対象として── 田中亜紀子 民法233条と道路管理 ──人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察── 売木 修 公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄 日清戦時財政の法史的考察 矢切 努 台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 謝 政徳 戦間期日本の国際連盟外交の可能性 ──少数民族問題と満洲事変── 矢嶋 光 公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 ──令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして── 横井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 ──日本法を比較の素材として── パトルガ ドゥルグーン 公共化論における行政組織法的問題の素描 矢島 聖也 瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録 三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録	非債弁済 民法121条の2との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·平田	健治
民法233条と道路管理 ——人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察——一荒木 修公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄日清戦時財政の法史的考察 矢切 努合北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 跡徳戦間期日本の国際連盟外交の可能性 ――少数民族問題と満洲事変――――――――――――――――――――――――――――――――――――	明治前期における警察官の「法継受」	.田山田	和工
公営住宅における遺品整理の法的課題 藤島 光雄日清戦時財政の法史的考察 矢切 努台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察 謝 政徳戦間期日本の国際連盟外交の可能性 矢嶋 光公営選挙ボスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 一令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして ・・横井 陽介モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 日本法を比較の素材として バトルガ ドゥルグーン公共化論における行政組織法的問題の素描 矢島 聖也瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録 三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録	民法233条と道路管理		
日清戦時財政の法史的考察			
戦間期日本の国際連盟外交の可能性 —少数民族問題と満洲事変—	日清戦時財政の法史的考察	·矢切	
公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察 — 令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして— ・・・横井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 — 日本法を比較の素材として— ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			政偲
――令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして――・・横井 陽介 モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である 「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 ――日本法を比較の素材として――・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		·矢嶋	光
「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において 基本的重要性を持つ」という概念に関する考察 ――日本法を比較の素材として――――――――――――――――――――――――――――――――――――	――令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を手掛かりとして――・・	·横井	陽介
公共化論における行政組織法的問題の素描 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「法学における新しい概念若しくは法令解釈の統一化において		
公共化論における行政組織法的問題の素描 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	基本的重要性を持つ」という概念に関する考察	ガ ドゥバ	レグーン
三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録	公共化論における行政組織法的問題の素描		
高橋明男教授 略歴・主要著作目録			
	高橋明男教授 略歴・主要著作目録		

大阪大学法学会役員 (50音順)

評議員長 缶 \mathbb{H} 邦 官 評議員高 \mathbb{H} 陽奈子 評議員松 井 和 彦 木 評議員 青 +抇 高 橋 悪 松 尾 竹 書 美 佳 髙 橋 智 也 松 \mathbb{H} 岳 " 宇 多 鼓次朗 髙 原 知 明 松 木 和 " エルバルティ ベリーグ " 武 田 直 大 的 場 かおり 之 汪 穎 \mathbb{H} 中 啓 水 島 郁 11 " 大久保 地 神 亮 水 谷 規 大 塚 智 見. 茶 袁 成 樹 村 良 太 西 畄 本 健太郎 津野田 馬 Ш \mathbb{H} 子 Z 部 延 剛 豊 \mathbb{H} 彦 Ш 本 紗 知 // 小 野 餇 養 司 鳥 直 片 桐 長 \mathbb{H} 真 吉 Ш 智 志 " 直 上 Ш 龍之進 中 村 瑞 秉 昊 李 北 中 Щ 竜 健太郎 " 村 百 和 仁 11 木 夏 名津井 吉 編集委員 松 \mathbb{H} // 村 岳 久 保 大 作 仁 木 恒 夫 的 場 かおり 小 池 未 来 杉 健 斗 Ш " 吉 智 志 坂 成 野 呂 企画委員 名津井 充 品 \mathbb{H} 史 長谷川 佳 彦 묘 \mathbb{H} 史 " 11 畄 な 会計委員 充 島 ま 濱 直 輔 呂 水 真希子 智 事務局 清 林 良 Щ \mathbb{H} 水 業 福 # 康 太 会計監查 良 清 莉 醍 醐 龍 馬 福 \mathbb{H} 雅 井 之 藤 髙 裕 本 利

2025 (令和7) 年1月31日 発行

定価 本体700円 (税別)

編集兼 大阪大学法学会 代表者 武 田 邦 宣

〒560-0043 豊中市待兼山町1番6号 大阪大学大学院法学研究科内

大学大学院法学研究科内 電06(6850)5178

印刷所中村印刷株式会社 〒601-8133 京都市南区上鳥羽藁田町55

発行所 大阪大学法学会

〒560-0043 豊中市待兼山町1番6号 大阪大学大学院法学研究科内 電06(6850)5178